

新潟県生活文化研究会だより

2011.10.01 NO.20

新潟県生活文化研究会

新潟市東区海老ヶ瀬471 TEL.025-270-7383

FAX.025-270-5173

思いつくままに

佐々木博昭

会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。暑い夏で計画停電やら節電の影響で疲れがとれないと感じておられる方も多いのではと懸念しております。

月日の経つのが早くて困っているのですが、あっという間に総会、年次大会が迫ってきました。今年度の年次大会の特別講演は、平成23年10月29日(土)、平成23年度新潟県立大学公開講座、「新潟で東日本大震災を受け止める」のシリーズ第3回「災害文化を継承する」で、共催する形で行われることになりました。「過去の災害の教訓が、私達の生活基盤である地域復興の中でどのように継承されてきたのか、されていくべきか？」という内容がパンフレットに書かれています。渡邊令子大会実行委員長の進行で、岩手大学三宅諭准教授をお迎えして、新潟工科大学穂積秀雄教授他の講師陣で開催される予定です。早速インターネットで「三宅諭先生」を検索してみると、地域計画保全論、景観工学、合意形成論、地域計画学特論などを担当されている都市計画・地域計画をご専門とされる新進気鋭の研究者のように見受けられました。自己紹介欄には「農学部に所属していますが、建築学を基盤として、都市・地域計画、まちづくりに携わっています。農村に限らず、都市も対称としています。景観やまちづくりを支援する手法、仕組みを中心に研究を進めています」と書かれていました。一方、穂積先生は、構造力学などを担当され、「耐震工学の先端を担って」を謳われ、「耐震構造」、「制振構造」を研究対象としておられます。穂積先生は、平成19年7月の中越沖地震

で柏崎市の壊滅的被害からの復興を手掛けられ、三宅先生は生々しい体験談と併せて復興計画の策定と実現途上におられ、充実した講演会になることが期待されます。

インターネットは、このように瞬時に多量のデータを私たちに提供してくれます。本当に便利で、今後どうなっていくのか楽しみです。ただ、私のように年配の人間は、Facebookに登録したものの「ご利用いただけていないようです」と配信されて消化不良を起こしています。私がコンピューターを使い始めた頃は、フォートランという言語を用い、紙テープに穿孔機で孔をあけて入力する時代で、一人一台のパソコンなど考えも及びませんでした。海外へ論文を送るにしても、航空便で1500円程度支払い、1ヶ月から2ヶ月後に返事がくることがあたりまえでした。添付ファイルで送信すれば瞬時に相手に届き、直ぐに返事がきて考えを巡らす時間がないのは何ともさみしい感じがします。

それはともかく、私どもの新潟県生活文化研究会も若手の会員のお力をいただいて、いよいよ「ヤフー」「グーグル」で検索をかけると画面上にホームページが出てきます。これをどのように生かしていくのが今後の課題です。「どのような表現をすれば会員増加に繋がるのか」、「ネット上で中味を公開して紙ベースの印刷費を減らすことは可能なのか」など皆様に大いに議論していただきたいと思っております。

平成23年度第1回幹事会報告

本年度の第1回目の幹事会を開催しました。現在の予算状況、秋の総会・年次大会へ向けての準備などを次のように話し合いましたので、当日ご欠席の幹事および一般会員の皆様にもご報告いたします。今後の活動についてご理解とご協力をお願いします。

1 日時：2011年7月28日（木）17:00～18:30

2 場所：新潟県立大学 1024 会議室

3 出席者：佐々木会長、板垣、木佐木、佐藤、
立山、地濃、渡邊、飯野（以上8名、敬称略）

配付資料：

1)新潟県生活文化研究会 2011 年度年次大会
（渡邊）

2)7/27 現在の会員数および会費収入見込み
メモ（佐藤）

3)会員名簿および会費納入日（佐藤）

4 議事：

1. 今年度年次大会について

- ・2011年10月29日(土)、県立大大学祭に合わせて開催。
- ・県立大地域連携センターとの共催とすることで合意。
- ・記念講演の講師および演題は、資料1の原案のとおり了承。PD 出演者については、今後適任の方をリサーチ。なお、飯野をPD パネラーの一人とする。
- ・総会、記念講演、および研究発表の時間帯、順序等は渡邊に一任。

2. 本年度予算について

- ・本年度収入見込みについて、資料2および資料3の通り報告。印刷業者（ハイングラフ）側の努力もいただいております、今年度も会誌発行の見通しであることを確認。
- ・会誌の掲載論文のメ切を、今年度より「1月末」とすることに決定。
- ・学生会員を増やすべく、鋭意努力を継続。総会の時期等については、今後は会費収入が増となる方向で柔軟に決定する。

3. 役員改選について

- ・今年度は役員改選の時期であるが、しばらく現体制を維持する。1年後の幹事刷新を見込んで、「副会長」職にあたるメンバーを、現会長を中心に考える。
- ・資料1原案の「第5号議案」については上記を諮ることとする。

4. その他

- ・本会の今後のあり方についてフリーディスカッション。会費収入、会員のメリット等を十分考え合わせて、ベストな方向性を見いだすべく、議論を継続することとした。

以上
(書記担当：飯野会員)

お知らせ

[1] 2011年度（平成23年度）の総会および 年次大会開催のお知らせ

本年度の総会および年次大会も、公立大学法人・新潟県立大学において開催します。大学祭とも重なりますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

総会・特別講演・年次大会

日時 2011年10月29日（土） 11:30より

場所 新潟県立大学

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

1. 総会（11:30～12:00）

議事次第

(1) 議長選出

(2) 議事録署名人選出

(3) 議事

第1号議案 平成22年度事業報告

第2号議案 平成22年度会計報告

第3号議案 平成23・24年度新幹事・監事選出

第4号議案 平成23・24年度新会長・副会長の承認

第5号議案 平成23・24年度新運営委員の承認

第6号議案 平成23年度事業計画案

第7号議案 平成23年度会計中間報告と収支予算案

2. 特別講演（13:30～16:00）

パネルディスカッションの形式で行ないます。

テーマ：災害文化を継承する

—新潟で東日本大震災を受け止める—

場所：新潟県立大学 1313 講義室

講師：三宅諭氏（岩手大学准教授）

パネリスト：地濃副会長・穂積秀雄氏（新潟工科大学教授）他

コメンテーター：坂田隆（石巻専修大学学長）

※特別講演は県立大地域連携センターとの共催になります。

3. 年次大会研究発表の募集！

ポスター形式の研究発表を募集いたします。発表形式は以下のようにお願いします。

◇縦 180mm × 横 90mm（A1 サイズ）以内

◇研究内容は自由に記入してください

なお、10月29日に、ポスターの前で説明を行っていただきます。質問を受けたり、自由に討論を行なってください。

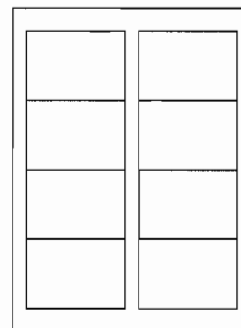
掲示：2011年10月29日（土）

貼付は当日 12:00 までをお願いします。

発表：2011年10月29日 12:00～13:30

場所：新潟県立大学 1313 講義室周辺

ポスター形式の例



A4 用紙の場合は左図のように8枚並べて展示することができます。

ポスターボードは事務局で用意します。

◆研究発表の申込みについて

応募締切：2011年10月21日（金）

題目および発表者全員の氏名と所属だけを事務局までお知らせ下さい。

ポスター・レジュメは、大会当日に各自でご用意下さい。

研究発表の申込先：

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

新潟県立大学 新潟県生活文化研究会事務局

板垣 俊一 宛 TEL.025-270-7383

[2] 会誌「新潟の生活文化」18号の原稿募集!

会誌18号の原稿を募集致します。

皆さんの積極的な投稿をお願い致します。論文・論説・資料・紹介・エッセー・お知らせなど、会の趣旨に近ければどんな小さな記事でも結構です。気楽に投稿してください。

★原稿の締切日：平成24年1月末日

◇書式について

書式は横書きとします。予算が限られていますので、場合によってはそのまま印刷が可能なように、文字の大きさ・周囲の余白・字数など1ページの体裁を整えていただくことになるかも知れません。また、図表や写真(白黒)の挿入については投稿者に後日ご相談致します。なお、刷り上がり4ページ以内は投稿料無料、4ページを超過した場合は予算の関係上、5ページ以上の分につき印刷実費を負担して頂きます。また、ページ数に関わらず、図表や写真のカラー印刷を希望される方についても印刷実費を負担して頂きます。

◇著作権の譲渡について

今後、本会のホームページも開設される予定ですので、会員のみなさんの記事を電子化してホームページ上にのせることもありうると思います。これについては著作権法の問題が生じますので、投稿のさいには次のような方針をご理解下さるようお願い致します。

- (1) 会誌掲載記事の著作権は執筆者本人に属します。
- (2) ただし、上記の著作権のうち「公衆送信・伝達権」を学会長に譲渡していただきます。

《次の記事もお願いします。》

*「ひろば」欄の〈特集〉では「我が家の伝統の料理、地域の料理・食物」を掲載しています。

たとえどのように短い紹介でもかまいません。

写真がある場合は添えて下さい。また、〈掲示板〉に載せる記事もご紹介下さい。今後予定されている研究会活動や市町村の地域活動などです。

*「紹介」欄に載せる〈会員の出版物〉や〈催し物〉もご紹介下さい。

○会誌の構成は今までと同じく次のように予定しております。

I 研究論文・研究ノート

II 論説・総説・解説

III 資料

IV ひろば

①声(エッセーを自由に)

②特集

③掲示板(会員の皆さんにお知らせしたいこと
をお寄せ下さい)

V 紹介

①出版(会員の出版物をご紹介下さい)

②催し物(地域であった、または予定の催し物
をご紹介下さい)

◇記事の振り分けは、編集担当へご一任いただければ幸いです。

◇文字原稿は取り敢えず E メールにてテキストファイルで送って下さっても構いません。

原稿送付先：

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬471

新潟県立大学

会誌編集担当：立山千草 宛

E-mail: chigusa@unii.ac.jp